

ALIT (外国語指導助手) コーナー

Hello. 岩城のALITセリーナです。今回は、日本に住んで気づいた便利なことと不便なことについてお話ししたいと思います。

コンビニはとても便利です。瀬戸内海の島にはあまりありませんが、都会に行った時はいつも使います。アメリカにはコンビニは大きな市にしかありません。小さな町ではガソリンスタンドのとなりにあります。売っている物が割と高く、品質もあまりよくないので、利用しませんでした。

日本のスーパーにあるレトルト食品や、すでにできているおかずなども便利だと思います。アメリカでは冷凍食品の方が多くて、あまりおいしくないと思います。スーパーでたまにデリー(Deer)というところがあって、そこで新鮮なサラダやおかずが買えますが、私はほとんど利用していませんでした。

日本の交通も大変便利です。車なしでも快適な生活が送れます。アメリカでは巨大な市以外では車が不可欠です。市内でバスや電車を利用して、遅れるときもあるし、乗り物が汚かったり、人がうるさかったりして、いらぬことがあります。日本のバスや電車内はいつもきれいで、乗っているお客さんは割と静かで最初感動しました。もちろん、時間どおりに動きます。



次に不便なことを話します。日本で私のアパートには服用の乾燥機はありません。外に服を干さないといいませんが、天気や時間によってあまり乾かない場合もあるから、大変不便です。アメリカではほとんどの人が洗濯機を使った後、直接ぬれた服をとなりの乾燥機に入れて、それが終わったら(約45分後)服をたたみます。私はアメリカでは服を外に干したことが一回もありませんでした。それから家やアパートにガスレンジの下にオーブンが付いていてなくて不便だと感じました。アメリカにいたころケーキやマフィンを焼くのが好きでした。でも日本では小さい電子レンジしか使えないので、少量を作るか、半分(または1/3)を焼いて、焼いたら、次の分を焼くというパターンしかなかったんです。

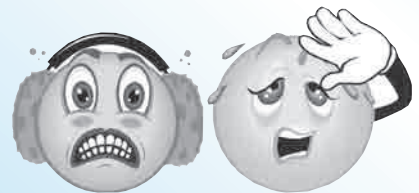


私にとって日本に来て一番困ったことはカルチャーショック(文化の違い)より寒さや暑さでした。けれど、それは天気のせいではあり

ません。なぜなら私が住んでいたシカゴ市の近くの夏の天候は広島市とほぼ同じだからです。7月は平均18度から29度まで、(広島市は23度から28度まで)です。朝はちよつと涼しい時もあるけど昼や夜は大変暑いんです。湿度は8月だと広島と全く同じで、72%です。冬は、シカゴの方がずっと寒いですが、よく雪が降って積もるし、1月(一番寒い月)はマイナス11度からマイナス3度までです。広島市だと、0度から6度までとずいぶん暖かいです。

日本で寒さや暑さが厳しく感じる原因は集中冷暖房がないからです。アメリカではビル内に集中冷暖房があって、どこでも、どんな天気や季節でも、温度が調整できるので快適に過ごせます。もちろん、家にも必ず付いていてみんな使っています。昨年生名に住んでいたとき、寒さで寝られない時もあった、これが人生初の問題でした。湯たんぽを買ってからゆつくり寝られるようになったけど、湯たんぽの存在さえ以前は知りませんでした。昨年の8月に岩城に來ましたが、冷暖房が付いていて今は家で快適に過ごしています。でも、学校はまだ大変です。教室や廊下などが外の気温と全く同じだったことが最初は大変なショックでした。

でもやつぱり、アメリカはエネルギーをちよつと使いすぎと思うようになってきました。インターネットで調べるとアメリカは世界の5%の人口なのに、世界の20%のエネルギーを使っているそうです。それを見ると、やつぱり日本の方が地球に優しい国ですね。



各地区の英会話教室

- 《弓削》 毎週水曜日 19:30、弓削中央公民館
- 《生名》 毎週月曜日 9:00、生名公民館
- 《岩城》 毎週木曜日 20:00、岩城総合支所庁舎
- 《魚島》 毎週水曜日 19:30、魚島開発センター

こんにちは 町長です

皆さんは、上島町が簡易緊急通報装置「シルバーホン あんしん」を扱っていることを御存じでしょうか。独居高齢者等が困った時に、緊急通報用に使う機器です。



電話では番号を押し間違える可能性もありますが、この装置はスイッチ一つで指定の電話に繋がります。私の父も八十歳であり、最近この装置のお世話になっています。スイッチを押すと私の家にかかり、妻の携帯電話に転送されます。つまり、どこにいても通報が携帯電話に入ってきます。

私が小学生の頃は、一人で暮らすお婆さんの家まで、姉と二人で夜泊りに行ったものです。真つ暗闇の中、懐中電灯一つでお墓の横を通つての道中は、大変怖かった思い出があります。今も父の家まで妻と泊りに通っています。今も父の家での独居高齢者への対応の重要さを改めて感じています。できる限りは家族で面倒を看、時には近所にもお願いをする。それでも手が回らない場合には役場をはじめとする公共機関に支援を仰ぐことも必要です。

厚生労働省は平成二十四年度からホームヘルパーなどが高齢者の家を定期的に訪問する「二十四時間地域巡回サービス」を策定していますので、お困りの時は上島町の「見守り事業」も含めた様々な制度を活用し相談もして下さい。健康 上島町長 上村俊之 推進課が担当しています。